

19:1 【主】はモーセとアロンに告げられた。
 19:2 「【主】が命じるおしへの定めは、こうである。イスラエルの子らに告げよ。まだくびきを負わせたことがなく、傷のない完全な、赤い雌牛をあなたのところに引いて来るようにと。
 19:3 あなたがたはそれを祭司エルアザルに渡す。そして宿営の外に引き出し、彼の前で屠る。
 19:4 祭司エルアザルは指で血を取り、会見の天幕の正面に向かってこの血を七度振りまく。
 19:5 その雌牛は彼の目の前で焼き、皮と肉と血を汚物とともに焼く。
 19:6 祭司は、杉の木とヒソプと緋色の撚り糸を取り、雌牛が焼かれている中に投げ入れる。
 19:7 祭司は自分の衣服を洗い、からだに水を浴びる。その後、宿営に入ることができる。しかし、この祭司は夕方まで汚れる。
 19:8 これを焼いた者も、自分の衣服を水で洗い、からだに水を浴びる。彼は夕方まで汚れる。
 19:9 それから、きよい人がその雌牛の灰を集め、宿営の外にきよい所に置く。そして、イスラエルの会衆のために、汚れを除く水を作るために保存しておく。これは罪のきよめのささげ物である。
 19:10 この雌牛の灰を集めた者は、自分の衣服を洗う。彼は夕方まで汚れている。これは、イスラエルの子らと、あなたがたの間に寄留している者にとって永遠の掟となる。

十字架のひな型です。水が一時的にであっても、汚れをきよめるのであれば、ましてやイエス様の十字架の犠牲はどれほど私たちをきよめることでしょう。

そこでこの雌牛の赤や血の赤は十字架の血を思わせるものです。また雄牛ではなく雌牛であるというのは、優しさを表わすもので、その命を犠牲にするとはいまにイエス様の愛を思わせるものです。

このようにイエス様の十字架がはるか昔から御計画されたもので、その理解のために主はここまで配慮をもってイスラエルを導かれたことをしりましょう。それはまさに私たちの救いも同じで、私たちは主の完全な御計画によって導かれて救われ、救われた後も導かれているのです。

感謝と確信を持って、その信仰を主と人の前に表わしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

